

松平康國 まつらひら 漢詩人。文久二年四月十一日江台生れ、昭和二十年一月二十一日歿（八六三—一九四五）。字猛郎、子寛。號天荒、天行、松生、瓊浦、破天荒、破天荒齋。隈靜齋、二島中洲の漢籍を學ぶ、東京大學藏書閣の英語、華語學を修む。明治十九年アメリカに渡り、ミシガンの大學で政治法津學を學ぶ。歸朝後『護國新聞』主筆、二十六年清朝首縣總督袁世凱の聘せられ編輯處主筆、二十九年湖廣總督張之洞の政治顧問となり四十二年に至る。爾來早稲田大學教授。

譯著の『英國史』（編著、明治二十七年五月二十八日早稲田大學出版部「歴史叢書」）、エリザベス・ウォームレー・ラティマー著『十九世紀末年史』（譯、明治四十二年四月十日大日本文明協會）、ポール

・リシヤール著『吾日本國（AU JAPON）』（大川周朗和譯・松平康國漢譯、大正六年七月序、川島浪速出版）、『予の實驗せる自漢術』（二版・大正九年五月十日南北社）、『天行詩鈔』全二冊（昭和八年十一月十日松平先生古稀記念文集出版部）、『天行文鈔』全三冊（昭和八年十一月十日松平先生古稀記念文集出版部）等。